

# 教育の力の可能性を信じるすべての人へ

ウェルビーイングを創出できる人材の育成を図る

## 「教育経営アカデミー」

### 第1期生（2025年度受講生）募集要項

#### 1) 受講対象者

- ・教育経営に関する総合的な知識・スキルを獲得し、実践力を身につけることを希望する、社会人としての就業経験が3年以上ある方（3年未満の方は、直接ご相談下さい。）
- ・教育を通じて、所属組織、地域社会、国や世界に貢献したい方。
- ・標準的なICTスキル（メールでの連絡の送受信、PCによる講義動画の視聴、Wordでの課題作成と提出、PDF資料の閲覧、Zoom操作等）があり、パソコンでの受講環境およびインターネットの接続等、ICTによる受講の環境がある方

#### 2) 募集人員

- ・年間受講コース 40名
- ・ウェルビーイングオンデマンド講座のみを受講 60名

#### 3) 講義科目・実習内容及びデジタルバッジの発行

- ・各講義の「受講」と「レポート（学びのアンカーリングシート）」の提出・合格で、講義ごとの受講修了を認定するデジタルバッジを発行
- ・各カテゴリ（学校経営・資源管理・カリキュラム・ウェルビーイング）の修了で、各カテゴリの修了を認定するデジタルバッジを発行
- ・全課程の修了で、全課程修了を認定するデジタルバッジ(Educational Manager)を発行
- ・全課程修了+アクションプランの提出+口頭試問合格で、Educational Directorの認証デジタルバッジを発行

【各カテゴリとテーマ、デジタルバッジ一覧】（次頁へ）

(※デジタルバッジは、国際標準規格オープンバッジ 3.0 です。)

カテゴリ	主なテーマ	認証バッジ 		
学校経営 マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織運営 (組織論、リーダーシップ論)</li> <li>教育DX (教育におけるAI活用、大学IR、データサイエンス、テクノロジーを活用した教育の潮流)</li> <li>カイロスの学び、超T型人材、マイクロレディンシャル)</li> <li>私学経営原論 (組織特性、法制、経営分析)</li> <li>Webマーケティング</li> </ul>	Educational Administrative Manager	Educational Manager	Educational Manager + アクションプランの提出と口頭試問合格で Educational Director
資源管理 マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源配分論・資金調達・財務分析・統計処理・資産運用・経営再建</li> </ul>	Educational Financial Manager		
カリキュラム マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本における教育の動向</li> <li>グローバル教育の動向</li> <li>SGH、SSH、オフショアスクール、高大接続</li> <li>思考するコミュニティの形成 (Understanding by Design /QFT:Question Formulation Technique/ Restorative Approach /World Cafe 他)</li> </ul>	Educational Curriculum Manager		
ウェルビーイングの 創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ウェルビーイング概論</li> <li>②ウェルビーイングと教育に関する世界の動向</li> <li>③組織におけるウェルビーイングの醸成</li> <li>④ファイナンシャル・ウェルビーイング</li> <li>⑤フィジカル・ウェルビーイング</li> <li>⑥米国におけるウェルビーイングの実際</li> </ul>	オンデマンド講座 ①～⑥のみの受講可能		
	【対面講座 (年間コース受講者)】 ・学校教育におけるウェルビーイングの創出 ・ウェルビーイング・SEL 講座	年間コースの方は上記 ①～⑥+対面講座受講で	Well-being Facilitator + Well-being Coordinator	

### 【講義の種類】

・年間受講コースは、次の (1) ～ (4) の4種類の組み合わせで実施します。

- (1) 対面講義
- (2) オンライン講義
- (3) オンデマンド学習
- (4) 「学びのコミュニティ」型オンライン学習

#### (1) 対面講義：各月土曜日 1 回開催 (8月は土日で開催)

- ・期間：2025年5月～2026年3月
- ・会場：兵庫県私学会館内 (会場の詳細は受講決定後に通知)
- ・対面講義時程：

受付	10:00
1 講目	10:30-12:00
昼休憩	12:00-13:30
ウェルビーイング/SEL 実践講座	13:30-14:00
2 講目	14:10-15:40
3 講目	15:50-17:20
事務連絡	17:20-17:30

※ 対面講義の内容は、後日、アーカイブ視聴により受講することが可能です。

(ただし、ワークショップやグループワーク形式の講義内容の場合は、アーカイブでは対面受講に比して参加体験等による学びが低減する可能性があることをあらかじめご了承ください。全体でのシェアリングの部分等はアーカイブにおいては非公開とさせていただきます。)

※ 2026年1月～3月の期間には、個別オンライン面談、アクションプラン提出、口頭試問があります。(オンラインにて実施)

## (2) オンライン講義：各月金曜日1回

・19:00～20:30にオンラインで開催します。

※後日、アーカイブ視聴により受講することが可能です。

## (3) オンデマンド学習：年間2種類の講座

・オンデマンド学習の講座は、次の1) 2) の2種類です。

1) 「ウェルビーイング講座」

2) 「統計処理講座」

※1) **「ウェルビーイングオンデマンド講座」のみを受講することが可能**です。

### 1) 【ウェルビーイングオンデマンド講座】(この講座のみの受講が可能)

・「ウェルビーイング」研究において日本の第一線の研究者による講義を包括的に受講することができる貴重な講座です。(リーフレットをご確認ください。)

・1か月に1講座(60分)×6講座を配信：6月配信開始

・収録した講義動画を配信、期間限定で視聴可能

・講義動画の視聴と、レポート(学びのアンカーリングシート)の提出・合格で、

①～⑥の各受講講座のデジタルバッジ認証

①～⑥すべてを受講すると、Well-being Facilitatorを認証しバッジを発行

**【ウェルビーイングオンデマンド講座】「①～⑥のみ」を受講することが可能**

①ウェルビーイング概論

②ウェルビーイングと教育に関する世界の動向

③組織におけるウェルビーイングの醸成

④ファイナンシャル・ウェルビーイング

⑤フィジカル・ウェルビーイング

⑥米国におけるウェルビーイングの実践

▶各講座の受講とレポートの提出・合格で、各講座の受講認定バッジを発行

▶①～⑥の全講座の修了で、Well-being Facilitatorのデジタルバッジを認証

・ご参考：年間コース受講の方は、さらに、

「学校教育におけるウェルビーイングの創出(対面講義)」

「ウェルビーイング/SEL実践講座(対面30分×8回)」

の受講と各レポートの提出・合格により、Well-being Coordinatorを認証し、デジタルバッジが発行されます。

## 2) 【「統計処理」：オンデマンド講座】

- ・基本的な統計のスキルを、日常の職務の中の活用場面からわかりやすく学べます。
- ・施策や企画の実践的な提案には、データの理解および数字による裏付けによる説得力が必要です。
- ・本講座は、「資源管理マネジメント」のカテゴリの一部であり、Educational Financial Manager の修了のために必要です。
- ・合計4コマ構成の予定です。詳細は受講者に別途連絡します。
- ・配信開始予定は7月です。

## (4) 「学びのコミュニティ」型オンライン学習：年間2回開催

- ・「学びのコミュニティ」型オンライン学習を実施します。
- ・夏6月～8月と、秋10月～11月の2回開催します。

★夏学期内容「未来を描く言葉のカー創造と論理のライティング講座」  
アイデアを創出し、共通理解や合意形成を広く図り、説得力ある提案として推進するためには、言語力が最重要の要素のひとつと指摘されています。本講座では皆様が言語力にさらに磨きをかけるためのご支援をし、各所属組織等での研修のポイントの習得を図ります。

### ★秋学期内容「探究の鍵🔑 よい問を立てるためのQFT実践講座」

日本の教育環境をふまえて、ハーバード教育大学院でも人気のQFT（質問づくりの手法）をお届けします。高次の思考の交流と協働する場を創り出すQFTは、幼稚園から社会人まで、また分野も教育のみならず、ビジネス・医療・介護・福祉・行政等、幅広く適用できます。研究や実践を深め、何度も繰り返し活用できる探究的な学びのツールです。

- ・期間中、スケジュールに沿って都合のよい時間に受講可能です。  
(1週間の平均所要時間は3～4時間程度)
- ・学習マネジメントシステム(LMS)として、Canvas を活用します。
- ・Canvas-LMS は、北米の高等教育機関において現在シェア第1位で、Moodle 等との差は拡大している傾向にあります。
- ・日本においても、大学における全学導入の傾向が広がっています。
- ・Canvas の活用によって、参加者の主体的な知の交流と幅広い応用が可能です。
- ・国際協働プロジェクト、海外交流プログラム、大学間の共通単位講義の設定、高大連携等の各校種間連携、学校間連携等にも活用できます。
- ・詳細については、受講方法とともに対面講義内にてご案内します。

## 4) 講義日程及び期間

【期間】 2025年5月開講～2026年3月

【日程】

5/24日(土)、6/27(金)・28(土)、7/18(金)・19(土)、8/22(金)・23(土)・24(日)、  
9/19(金)・20(土)、10/17(金)・18(土)、11/14(金)・15(土)、12/12(金)・13(土)

【時間と会場】

- ・金曜日実施：19:00-20:30 オンラインによる遠隔講義
- ・土曜日実施：10:00-17:30 対面講義 兵庫県私学会館内

※開講初日 5/24(土)は、10:20 より、開講のセレモニーを行います。

※詳しい時間割は、受講決定後に通知します。

※修了式は 2026年3月(日時未定)に行います。受講者へ通知します。

※上記日程のほかに

- ・オンデマンド講座(ウェルビーイング、統計処理)
- ・「学びのコミュニティ」型オンライン講座(Canvas-LMSによる講座)を行います。

## 5) 講義会場

- ・兵庫県私学会館内 (〒650-0004 兵庫県神戸市中央区北長狭通 4-3-13)

※ 対面講義は上記会場で行います。対面講義は後日アーカイブでも視聴が可能です。

## 6) 通学が困難な方を対象としたインターネット受講について

- ・遠方に在住の方や来場が難しい方も、インターネット上で受講が可能です。
- ・対面での出席かアーカイブ受講かという受講の形態自体は、受講認定および成績評価等に関係しません。

## 7) 受講費用

【年間受講コース】

受講費用：年額 30 万円

(受講料、会場使用料、Canvas-LMS 使用料、デジタルバッジ認証料・発行手数料、修了認定手数料、受講者管理およびデジタルバッジ認証 LMS 使用料等を含む)

【ウェルビーイングオンデマンド講座のみを受講】

受講費用：10 万円

(受講料、デジタルバッジ認証料・発行手数料、受講者管理およびデジタルバッジ認証 LMS 使用料等を含む)

※受講費用には、受講者管理に係るシステム構築と運用およびアーカイブ動画の作成・管理費用等も含まれます。

※振込後の受講費用は、理由の如何に関わらず返還できかねますのでご了承ください。

## 8) 出願手続き

### (1) 出願書類作成

出願書類の [受講申込書 \(word\)](#) を作成

(本要項の最後にあります。また、HPの「教育経営アカデミー」のページからダウンロードできます。)

### (2) 出願方法

次の①～③の手続きにより出願する。

① 受講申込書を作成する。

※受講申込書(〇〇)のファイル名の〇〇の部分に名前を記載すること

※受講申込書には、送信日の8桁でパスワードをかけること

(例：2025年3月10日なら、20250310)

② メールの件名は「アカデミー受講申込」とする。

③ メールアドレス [info@mirai-kyoiku.or.jp](mailto:info@mirai-kyoiku.or.jp) へ、「受講申込書」をメールに添付して申し込む。本文に所属先と名前を記載する。

※受講申込のメール送付後、1週間してもメール受領の返信がない場合は、お手数ですが、[お問合せフォーム](#) からお問合せください。

### (3) 出願期間

**2025年4月30日まで(ただし、応募順に認定し、定員になり次第締め切ります。)**

※応募順に選考し、4月1日以降の振込完了順に定員になり次第締め切ります。

※受講資格の認定後、**4月1日以降の受講費用の振込の完了で、受講認定**となります。

## 9) 出願書類

### [『受講申込書』 \(word\)](#)

本要項の最後にあります。また、HPの「教育経営アカデミー」のページからダウンロードできます。

## 10) 受講資格者の資格条件と決定

- ・提出された「受講申込書」は、公益財団法人未来教育研究所および京都大学間地域連携推進ユニットによる「教育経営アカデミー運営委員会」において受講資格について審査し、受講資格者として決定する。
- ・受講申し込みの際は、出願資格に加えて、予め次の1～4の事項の確認と了承が必要です。1～4について必ず確認し、ご了承の上、受講申込書をご提出ください。
  - 1) 反社会的組織に所属せず、関連した活動にも一切関係していない。
  - 2) 宗教およびその他の組織的な勧誘等を目的としていない。
  - 3) 1・2のような事実や行為が認められた場合、年度途中であっても受講資格を喪失し、以後の受講ができないことを了承する。その場合、主催者側の事実確認および

調査等に協力し、主催者側の弁護士等の見解も踏まえた最終的な判断の受け入れを了承する。

- 4) 3により、年度途中に受講資格を喪失した場合に、受講費用は返還されないことを了承する。

## 11) 受講資格審査の結果通知

- ・「受講申込書」について、順次、審査を行い通知する。（[info@mirai-kyoiku.or.jp](mailto:info@mirai-kyoiku.or.jp)より、メールにて通知しますので、受信設定をお願いします。）
- ・受講資格審査通過者には、審査結果とともに受講費用の振込先等を通知する。

## 12) 受講者の決定

- ・「受講申込書」の審査により、受講資格者を決定し通知する。
- ・受講資格所が、所定の期間（2025年4月1日～4月30日）に受講費用を納入すると、「受講者」として決定する。

※受講資格者であっても、所定の期間に受講費用を振り込まなかった場合は、受講資格を失います。

※受講申込を取り消したい場合は、速やかに事務局へお知らせください。

※5月1日以降、受講料の返還はできません。

## 13) 受講費用の納入期間

**2025年4月1日（金）～2025年4月30日（水）**

※振込先等の詳細は、受講資格審査の決定通知とともに送付する文書に記載する。

## 14) デジタルバッジによる認証および修了証明書の交付

・デジタルバッジによる認証については、「3）講義科目・実習内容及びデジタルバッジの発行」の項を参照のこと。

- ・デジタルバッジの管理および個人による活用方法等については、講義の中で説明する。
- ・全プログラムを修了した方に、「教育経営アカデミー」修了証明書を交付する。

※修了認定は、全講義の履修を満たすことが条件となります。

※大学および大学院の単位としては認定されません。

## 15) 「教育経営ディレクター」の認証

- ・全プログラムの修了者には、「教育経営ディレクター」の認定審査を受ける権利を付与
- ・認定審査は「アクションプラン」の審査と口頭試問(2026年1月～3月)にて実施
- ・認定審査に合格した修了者に、「教育経営ディレクター」を認証  
(※2026年1月～3月のスケジュールは、受講中に通知します。)

## 16) その他

- ・公益財団法人未来教育研究所の正会員のご所属先から、2名無料で受講できます。

会員になって申し込むこともできます。

- ・旧「京都大学私学経営アカデミー」修了生は、年間コースを受講費用 20 万円にて受講できます。

## 17) 問い合わせ先

[お問合せフォーム](#) または、[info@mirai-kyoiku.or.jp](mailto:info@mirai-kyoiku.or.jp) までお問合せください。

### 【取扱時間】

平日（月～金）10 時～17 時 休日、祝日及び年末年始は除きます。

【お願い】 他業務およびリモートワーク等の事情により、できる限りメールにてお問合せください。

### 【主催および事務局】

公益財団法人 未来教育研究所

〒650-0004 兵庫県神戸市中央区北長狭通 4-3-13 兵庫県私学会館 4 階

TEL : 078-954-8222 / FAX : 078-954-8228

2025 年度「教育経営アカデミー」受講申込書

No.

令和 7 (2025) 年 月 日現在

ふりがな				受講希望のコース (○を記入)	写真 (画像) 貼付欄  正面 上半身 脱帽 背景なし
氏 名				・年間受講コース ( ) ・ウェルビーイング講座のみ ( )	
生年月日	年	月	日	(満 歳)	
自宅電話	E-MAIL				
携帯電話	(PC アドレス)				
ふりがな					
現住所	〒				
所 属			部署		役職
最終学歴	西暦	年	月	日	卒業 ・ 修了
職歴					
◆志望動機・学習目的 ※受講の動機や、学びを今後どのように展開するかについて約300字でご記入ください。					
◆次に該当する場合は、( ) に○印をご記入ください。修了生は修了年度等もご記入ください。					
・公益財団法人未来教育研究所法人会員の学校園に所属している。( )					
・京都大学私学経営アカデミーの修了生である。( ) 【 年度 期生】					
◆以下は選考要件ではありませんが、円滑な運営のためにアンケートのご協力をお願いします。					
アカデミーの受講方法 (年間受講の方) の予定をお聞かせください。 [回答番号: ]					
①直接来場して毎回受講したい ②直接来場とネット受講を半分ずつ程度 ③ほぼネット受講だが直接来場できる場合には行く					
講座受講中あるいは受講後の効果として、どのようなことを期待しますか。 [回答番号: ]					
①処遇の向上 (昇進、昇格、資格手当等) に役立つ ②配置転換等により希望の業務に従事できる ③社内外の評価が高まる ④早期に就職・転職できる ⑤事業展開に役立つ ⑥趣味・教養に役立つ ⑦その他 ( )					
本講座を知るきっかけとなった媒体を教えてください。 [回答番号: ]					
①WEB ページでの情報 ②HP を見て ③知人からの紹介 ④パンフレット ⑤職場でのアナウンス ⑥その他 ( )					

A4 1 枚でご記入ください。